

国際会議開催報告：ICUT2009とICCSA2010

アブドゥハン ベーナディ
Bernady O. Apduhan

九州産業大学 情報科学部 情報科学科
Faculty of Information Science, Kyushu Sangyo University
bob@is.kyusan-u.ac.jp, <http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~bob/>



図1 ICUT2009 Keynote Talk

本学開学 50 周年の年に、情報科学部を会場に国際会議が 2 つ開かれました。

まず、2009年12月20日から22日にかけてICUT2009 (The 4th International Conference on Ubiquitous Information Technologies & Applications) が開催されました。ユビキタス情報技術とその応用についての国際会議で、ユビキタス情報技術のハードウェア、ソフトウェア、通信とブロードキャストの部門があります。十数カ国 120 人の研究者や技術者が集まり、3つの招待講演、72の論文が発表されました。招待講演の演題を一部ご紹介しますと、「無線ネットワークの最近の動向と挑戦」「インターネットと計算能力の発展に限界はあるのか」というものです。

2010年3月23日から26日にかけてはさらに大きなICCSA2010 (The 10th International Conference on Computational Science and its Applications) を開きました。740編の応募論文の中から221の論文が選ばれ、202名の参加者が世界各国から集まって、30のセッションに分かれて討議を行いました。

セッションの分野は、計算機代数システム、計算幾何学、コンピューターグラフィックと仮想リアリティ、化学・物質工学技術、地理的分析・都市計画、生物情報学、モバイルセンサーとその応用、数値方法とモデリング・シミュレーション、情報検索とセキュリティ、ソフトウェア技術のプロセスと応用、ソフトウェア開発ツール、無線通信、WEB2.0と社会ネットワーク、無線マルチメディアセンサーネットワークなど、大変広範囲にわたるものです。

招待講演は「サイバー・フィジカルシステムのフレームワークとしての Web」「共有仮想空間における視覚的触覚的演出」など今後の情報技術を展望するものでした。研究者が専門分野について親しく情報交換を行い、大きなテーマについても討議することができて、大変活発な会議でした。

本学は福岡市の東端に位置し、博多駅からのアクセスが良く、施設も整っているので、国際会議の開催には大変有利です。福岡市は海岸線の都市美の素晴らしい町です。黒田節、武家屋敷などにしえの日本を紹介するにも事欠きません。その地を世界の研究者に紹介し、福岡や日本の魅力を知ってもらうためにも国際会議の開催は意義あることだと思います。

今回の2つの国際会議は情報科学部で開催した初めての国際会議で、準備から実施にかけてあらゆる方面でご協力いただきました。携わってくださった方々に深く感謝いたします。



図2 ICCSA2010 Conference Tour